

## 助成対象事業成果概要報告書(概要版)

制度名	高齢者・チャレンジド向け通信・放送サービス充実研究開発助成対象事業
助成対象事業名	「障害者・高齢者向け生産情報発信システムの研究開発」
助成対象事業者名	北海道日興通信株式会社

### [研究開発課題の全般について]

①	助成対象事業の概要	知的障害者や高齢者が生産した製品や商品を、障害者・高齢者自身が容易にインターネット上に情報発信をし、ネット商取引の役務を行うシステムの研究・開発である。
②	助成対象事業の目標	軽度の知的障害者、高齢者が生産した商品を、自身が容易にインターネット上に情報発信し、フィードバックや注文にこたえ、商品を販売するまでの流れをバリアフリー化することにより、健常者と同等レベルのインターネット上でのコミュニケーションが可能になるシステムとそれを利活用する役務の提供

### [平成22年度実施部分について]

③	平成22年度助成金	8,600 千円
④	研究開発の実施内容	<p>自発電型情報発信システムの設計および、設置と協力施設となる「砂川希望学院」の施設内にシステムを稼働させる、サーバの設置、および院長室への大型タッチパネルの設置。会議室、事務室に管理用PCの設置を行った。</p> <p>また、アドバイザーの方を迎え、システムの在り方、インターフェイスやワークフローについて検討会を重ねている。また、検討会による方向性がただしいかについて、砂川希望学院で実証実験を行った。</p> <p>来年度に開発・試験運用を開始できるよう、各システムの設計を行い、データフローなどを検討した。</p>

### [平成22年度実施部分における研究開発課題の成果や評価結果について]

⑤	研究開発の成果	<p>来年の実験に向けてのハードウェアについてはすべて、設置/納品、検査済み。また、それらのハードウェアで稼働する各アプリケーションについても、概要設計を終えた。来年から具体的な開発に入り実験と改修を重ねていきたい。</p> <p>検討委員会により「行動科学によるモードレスな情報発信・コミュニケーションシステム」という、本研究開発の具体的な目的ができた。実証実験により、全員が同じ作業をするのではなく、個性を生かした役割分担のシステム、さらには知的障害者の訓練/教育にもなるような個別支援のシステムについても来年度課題としていきたい。</p>
⑥	研究成果の応用状況、利用状況	